



Digital Video Recorder

インストールマニュアル

TR-2504



取扱説明書を読む前に

本取扱説明書では、(株)IDISの製品であるDigital Video Recorder（デジタルビデオレコーダー）の設置および運用のための基本的な説明を記述しています。

本機をはじめてご使用になるユーザーの方はもちろん以前多くの類似装置を使用してきたユーザーの方でも、ご使用前には必ず本取扱説明書をよく読み注意事項をご確認の上、本機を使用することをお勧めいたします。なお、安全上の警告および注意事項は製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるため、必ずお守りください。お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管して下さい。

- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または取扱説明書の使用方法を従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負いかねますので、ご了承下さい。
- Digital Video Recorder(デジタルビデオレコーダー)を初めてご使用になるか、使い方がよく分からないユーザーは、設置や使用する途中で必ず販売店までお問い合わせ頂き専門のエンジニアのサポートを受けて下さい。
- 機能拡張および故障修理のために装置を分解する場合は、必ず販売店までお問い合わせいただき専門家のサポートを受けて下さい。
- 本機は業務用として電磁波適合登録を済ませた装置ですので、販売者または使用者はこの点にご注意ください。もし、誤って販売または購入した場合には、家庭用のものに交換してください。
- 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS（Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置）の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店のお問い合わせください。

安全上の注意事項の表示



	注意 感電の危険があるので開けないで下さい。	
注意： 感電の危険があるのでカバー（後ろカバー）を取り外さないで下さい。 修理は資格のあるサービス担当者へ依頼して下さい。		





この事項を守らない場合、死亡したり重症を負う恐れがある内容です。



この事項を守らない場合、軽症を負ったり財産の損害が発生する恐れがある内容です。

記号	規格	タイプ
	IEC60417, No.5032	交流
	IEC60417, No.5031	直流

本文での表記

アイコン	表記	意味
	注意	本機の機能や動作に関する内容で、必ず熟知しておかなければならない内容です。
	参考	本機を使用する上で役立つ内容です。

著作権

©2021 (株) IDIS

本取扱説明書の著作権は (株) IDISにあります。

(株) IDISの許可を事前に得ず、取扱説明書の内容の一部または全部を無断で使用したり、複製したりすることは禁じられています。

本取扱説明書の内容は製品の機能改善などの理由により予告なく変更される場合があります。

登録商標

アイディスとIDISはアイディスの登録商標です。

その他の社名や製品名は当該会社が所有する登録商標です。

本文書に収められた情報の完結性と正確性を検証するため、最善を尽くしておりますが、保障はいたしかねます。本文書の使用結果による責任はユーザーにあります。また、事前の連絡なく情報が変更されることもあります。

本機には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。ライセンス政策のソース公開支援可否によって、該当ソフトウェアのソースコードを希望する場合は提供受けることができます。詳細内容はシステム設定 - 製品情報のタップのご確認をお願いします。本製品はUniversity of California, Berkeleyが開発したソフトウェア及びOpenSSL Projectが開発したOpenSSLツールキット用のソフトウェアを含めております。また、この製品はEric Young (eay@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアとTim Hudson (tjh@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアを含めております。

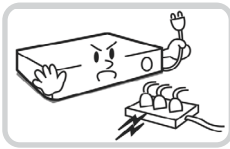
本製品は下記URLに掲載されている特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com

安全上の注意事項

製品を正しく使うことで使用者の安全を確保し、財産上の損害などを事前に防止するための内容であるため、必ずお守りください。

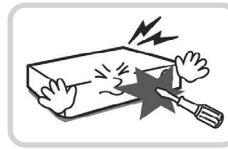
警告 この事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある内容です。

設置について



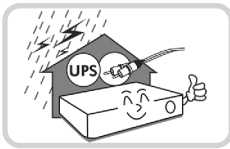
設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントは、タコ足配線は止めてください。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



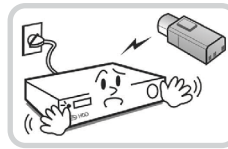
本機の内部に高電圧部分があるため、任意で蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。

異常作動により火災や感電、けがの原因となります。



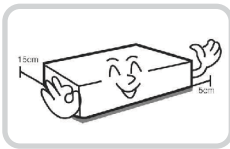
停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を作ってください。

火災、感電、けがの原因となります。



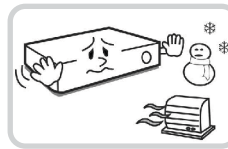
カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の駆動中には絶対に信号ラインを接続しないでください。

火災、感電、けがの原因となります。



本機の後面には接続のための端子が突出しているため、壁に近ざるところに設置するとケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔を開けて設置してください。

火災、感電、けがの原因となります。



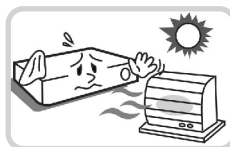
温度が高すぎる場所（40℃以上）や低い場所（5℃以下）、湿度の高い場所には設置しないでください。

火災の原因となります。



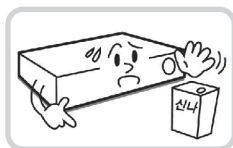
湿気、ホコリ、煤などの多いところには設置しないでください。

感電、火災の原因となります。



直射光線の当たらない涼しい場所に設置し、適正な温度を維持してください。ロウソクや暖房器具など、熱を発する機器の近くには設置しないでください。

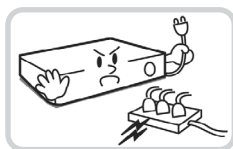
火災が発生する恐れがあります。



設置する場所は、ホコリが溜まらないよう常に清潔を保ってください。製品を掃除するときには、必ず乾いた雑巾で拭き取ってください。水やシンナー、有機溶剤は使用しないでください。

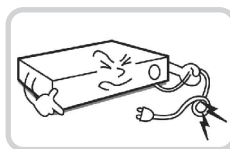
製品の表面を傷つけ、なお、故障や感電の恐れがあります。

電源について



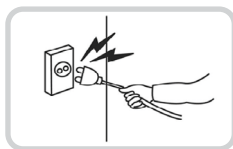
本機が作動するための電源電圧は、電圧の変動範囲が規程電圧の10%以内である必要があります。電源コンセントは必ず接地するようにしてください。電源コードを接続するコンセントには、ヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫などの電熱器具を一緒に使用しないでください。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



電源コードを無理に曲げたり、重い物を乗せたりして破損しないようにしてください。

火災の原因となります。



電源コード部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コンセントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。

火災、感電の恐れがあります。

アース(接地)は確実にこなう。電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

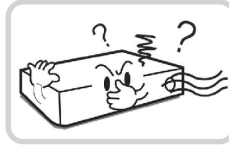
付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードは本機専用です。他の製品に使用しないでください。

使用について



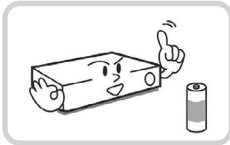
製品に水、または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いてサービスセンターまでご連絡ください。

故障、火災の原因となります。



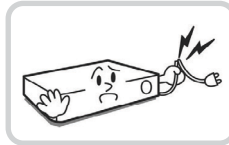
異常な音がしたり臭いがしたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店やサービスセンターまでお問い合わせください。

火災、感電の恐れがあります。



電池は製造者が指定した同一型番また同等品だけを使用してください。使用済み電池は製造者の指示に従って廃棄してください。

爆発の恐れがあります。



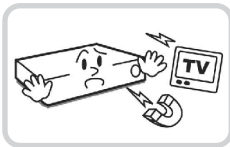
湿気のある床や接地されていない電源延長コード、被覆の剥がれた電源コード、安全接地の欠如など、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。

火災、感電の恐れがあります。



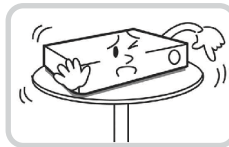
注意 指示事項を守らない場合は、軽傷を負ったり、製品が損傷したりする可能性があります。

設置について



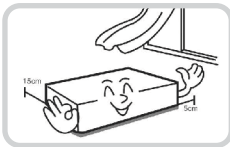
強い磁性や電波のある場所、衝撃のある場所、ラジオやテレビなどの無線機器に近い場所には設置しないでください。

磁石類や電波、振動のないところに設置してください。



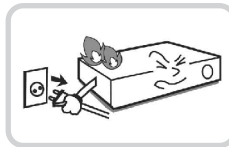
水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。

機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人にけがをさせたりする恐れがあります。



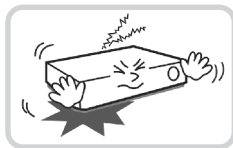
密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内の空気は適切に循環させてください。

周辺的环境要素により故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上の間隔を置いて設置してください。



ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。

製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。



強い衝撃や振動のない場所に設置してください。

故障の原因となります。

使用について



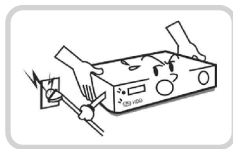
製品の上に重い物を置かないでください。

故障の原因となります。



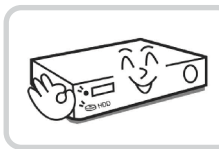
通風のために開いている溝に導電性物体が落ちないように注意してください。

故障の原因となります。



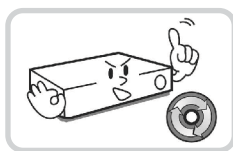
製品の駆動中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。

故障の原因となります。

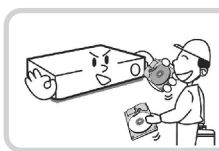


製品前面の録画LEDが点滅し続けていれば、システムとHDDが正常に接続されていることが分かります。

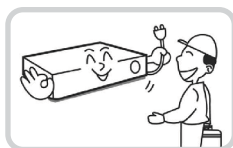
録画LEDが点滅し続けているかどうか随時確認してください。



HDDの空き容量がなくなったときに録画を続けるために設定を変更して録画を続ける場合、既存のデータが削除されるため再度確認してください。



データを保存するHDDの寿命が尽きると、保存されている映像データが損傷して復旧できないことがあります。HDDに保存されているデータを再生する場合、画面に乱れが生じたらHDDの寿命が尽きたことを意味するため、早急に販売店やサービスセンターに連絡しHDDの交換を依頼してください。



製品の動作状態を随時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。

目次

1

第1章－製品紹介

9

製品の特徴

9

付属品の確認

11

各部分の名称および機能

12

前面パネル

12

後面パネル

15

後面パネルの接続

16

リモコン

20

2

第2章－付録

22

システムログの種類

22

エラーコードの種類

23

故障時の確認事項

24

製品の仕様

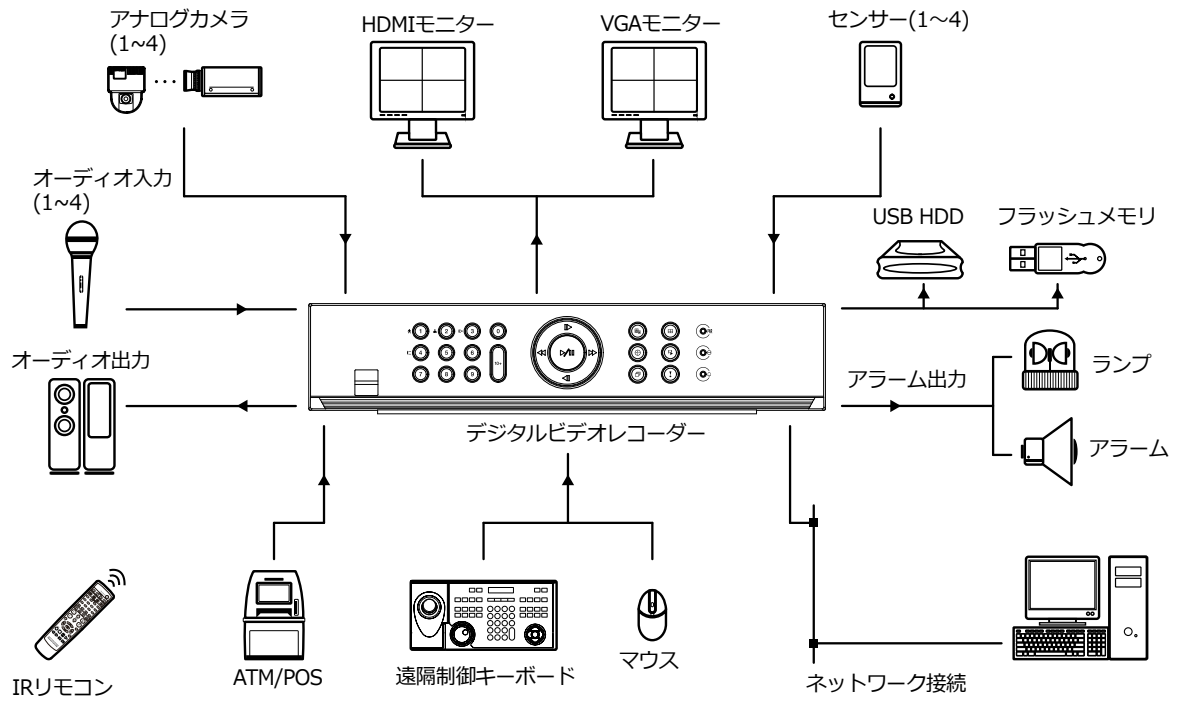
25

第1章－製品紹介

製品の特徴


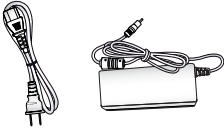
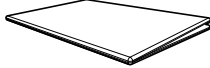
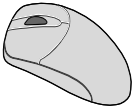

本製品は、アナログカメラの映像監視、録画および再生に対応するDigital Video Recorder (以下、DVR)であり、次のような特徴を持っています。

- チャンネル別ビデオのリアルタイム監視に対応
- HD-TVIとAHD入力自動検出
- H.264/H.265 コデック
- HD～5M, SDカメラ自動検出/NTSC, PAL自動検出
- 120ips リアルタイム録画 (Full HD解像度基準)
- 1 HDMI, 1 VGA OUT 映像同時出力に対応
- カメラメニューのコントロールウィンドウ制御のためのUTCに対応 (同軸ケーブルでカメラメニューコントロールウィンドウを制御)
- 早くて簡単な検索モードを提供 (タイムラプス、イベントログ、モーション、テキストイン)
- リアルタイム監視、録画、再生、遠隔転送機能のマルチタスク可能
- ユーザー中心のグラフィックユーザーインターフェース (GUI) と多国語を提供
- さまざまな録画モード (スケジュール、イベント、プライベート、緊急)
- ディスク上書きモードの際、連続録画が可能
- USB2.0端子 x 2 (マウス、S/Wアップデートおよび再生映像の保存)
- POS/ATM 接続に対応
- 双方向オーディオ機能に対応
- 4チャンネルオーディオ録音および1チャンネルオーディオ再生に対応
- 4アラーム入力、1アラーム出力、内部ブザーに対応
- 完全な遠隔機能を提供 (遠隔監視、遠隔検索、遠隔管理、双方向オーディオ)
- IRリモコンに対応
- 自己診断機能、HDD状態などシステムの状況をシステムイベントで知らせる機能。(HDD状態はS.M.A.R.T.プロトコル使用)



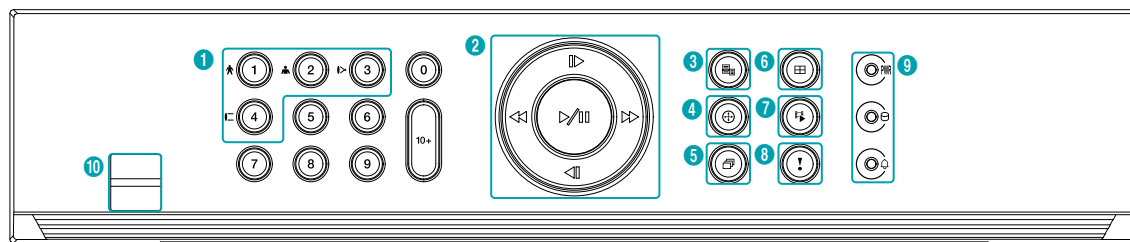
付属品の確認

製品の梱包を解体し、下記の付属品がすべて含まれているか確認してください。

		
デジタルビデオレコーダー	電源アダプタ/電源コード	クイックガイド
		
マウス	ケーブルクランプ	

各部分の名称および機能

前面パネル



①	カメラボタン	②	方向および再生ボタン	③	メニューボタン	④	PTZボタン
⑤	グループ/自動切替ボタン	⑥	分割画面ボタン	⑦	検索モードボタン	⑧	緊急録画ボタン
⑨	LED	⑩	USB端子				

- 一部のボタンは一つ以上の機能を持っています。
- リモコンセンサーは、前面パネルの真ん中にあります。物がセンサーを遮らないように注意してください。センサーが遮られるとリモコンが正常に作動しません。
- Wi-Fi（無線LAN）およびBluetoothのような無線通信装置をDVRの近くで使用する場合、リモコンが正常に作動しない可能性があります。
- 家庭用PCのように、USBマウスを利用して各設定ウィンドウやメニューに移動することができます。
- システム設定を円滑に行うため、USBマウスの使用をお勧めします。

① カメラボタン

リアルタイム監視モード、または再生モードで**カメラ**ボタンを押すと、そのカメラの映像をフルスクリーンで見ることができます。


② 方向ボタンおよび再生ボタン

各メニューや項目に移行するために使用します。

入力(⏏)ボタン	項目を選択するときや、入力事項を登録するときに使用
設定メニューで入力するとき	(▲/▼/◀/▶)ボタン：上下左右でメニュー項目間を移動 (▲/▼)ボタン：数字を増減する。
再生モードで入力するとき(調整エリアメニューがなしに選択されている状態の場合*)	▶/ ボタン：映像を通常で再生し、スクリーンに▶が表示される。再生中に押すと映像が一時停止し、画面には が表示される。 一時停止の状態 ◀ ボタン：前画面に移動 ▶ ボタン：次画面に移動 ◀◀ ボタン：映像を高速で逆再生(ボタンを押すたびに◀◀、◀◀◀、◀◀◀◀に再生速度変更：X16, X32, X64, X128, X256) ▶▶ ボタン：映像を高速で再生(ボタンを押すたびに▶▶、▶▶▶、▶▶▶▶に再生速度変更：X16, X32, X64, X128, X256)


*調整エリアメニューに関する内容は **オペレーションマニュアル**の **タイムラプス検索**をお読みください。

③ メニューボタン


リアルタイム監視モードで**メニュー**  ボタンを押すと、リアルタイム監視メニューが表示されます。

検索モードで**メニュー**  ボタンを押すと、検索メニューがスクリーン上段に表示されます。





ボタンをもう一度押すと、メニューが消えます。

再生モード**メニュー**  ボタンを3秒以上押し続けると、ワンタッチモードに切り替わりバックアップ設定ウィンドウが表示されます。ただし、画面上段の検索メニューが表示される状態では、ワンタッチモードに切り替わりません。


④ PTZボタン

PTZ  ボタンを押すとPTZモードになり、設定されたPTZカメラが制御できます。


PTZモードが開始すると、方向ボタンで上下左右に動かすことができます。

	ズームアウト
	ズームイン
	フォーカスを近くに
	フォーカスを遠くに

⑤ グループ/自動切替ボタン


リアルタイム監視モードで**グループ/自動切替**  ボタンを押すと、他のチャンネルを連続的に表示する自動切替モードに変わります。


⑥ 分割画面ボタン

分割画面  ボタンを押して他の分割画面フォーマットに切り替えます。



2x2スクリーンなどに設定することができます。

⑦ 検索モードボタン

検索モード  ボタンを押すと検索モードに入り、録画された映像を再生することができます。

検索モードで**検索モード**  ボタンを押すと、監視モードに切り替わります。

⑧ 緊急録画ボタン

緊急録画  ボタンを押すと、 が表示され、現在のスケジュールに関わらず映像録画を始めます。

ボタンをもう一度押すと、緊急録画モードが解除されます。

⑨ LED

● **電源LED**：本体が動作中に、赤色点灯します。

■ **HDD LED**：ハードディスクに映像を保存したり、保存された映像を検索したりするときに、赤色点滅します。

⚠ **ALARM LED**：アラームイベントが発生すると、赤色点灯します。

⑩ USB端子

• HDD接続

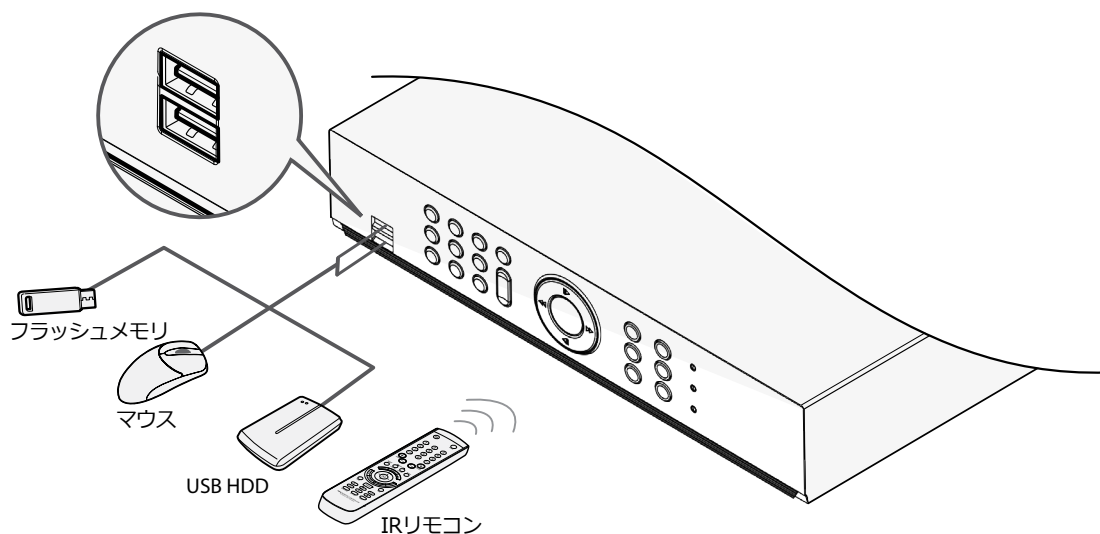
USB端子にUSB外付けハードディスクやフラッシュメモリを接続してバックアップに使用することができます。外付けハードディスクはなるべくDVRに近いところで接続してください。通常180cmを超えないケーブルで接続することをお勧めします。外付けハードディスクと一緒に提供されたUSBケーブルでDVRのUSB端子に接続してください。ビデオバックアップに関する内容は、**オペレーションマニュアルのバックアップ**を参照ください。

• 外部機器の接続（マウス、プリンター）

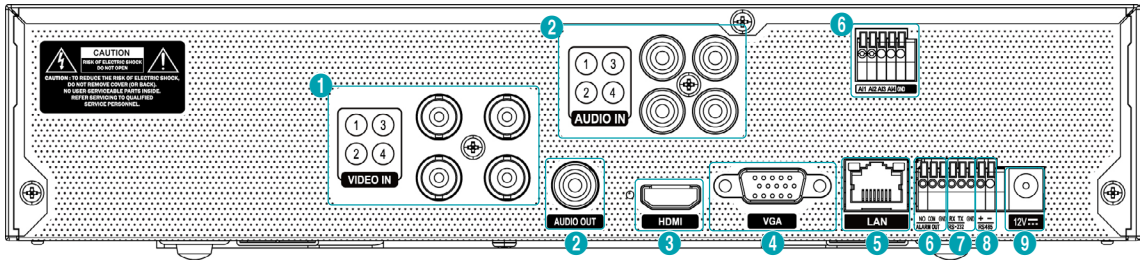
USB端子にUSBマウスを接続することができます。また、USB⇄シリアルコンバーターを接続し、テキストインデバイスをいくつか接続するのに使用できます。

USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。

前面パネルの接続図



後面パネル

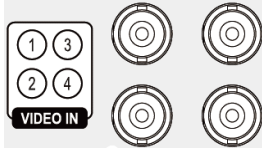


①	ビデオ入力ポート	②	オーディオ接続ポート	③	HDMI出力端子	④	VGA出力端子
⑤	ネットワーク端子	⑥	アラーム接続端子	⑦	RS232端子	⑧	RS485端子
⑨	電源入力端子						

後面パネルの接続

ビデオ接続

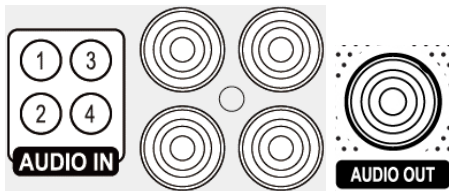
• Video In端子



ビデオソースからVideo Inコネクタまたは BNC Video Inコネクタまで同軸ケーブルで接続します。

オーディオ接続

(現在、一部の機能には未対応。)



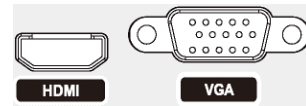
オーディオ機器を**AUDIO IN**（オーディオ入力）に接続し、アンプが内蔵されたスピーカーを**AUDIO OUT**（オーディオ出力）に接続してください。**AUDIO OUT**端子に接続すると、アナログカメラからの音声を聞くことができます。

AUDIO IN（オーディオ入力）端子を利用すれば、カメラとの双方向通信ができます。

- DVRはオーディオ出力アンプを実装していないため、ユーザーはアンプとスピーカーを用意する必要があります。オーディオ入力は増幅されたリソースを接続することができますが、内蔵アンプがないマイクを直接接続しても正常に作動しません。こういった場合は、別途アンプを介して接続してください。
- 録音することが許容されているか、当該地域の法律を確認してください。

モニター接続

VGA OUT、**HDMI**端子にモニターを接続することができます。



ネットワーク接続

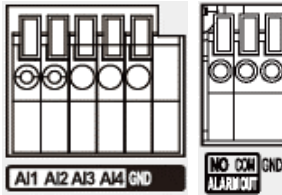


本DVRは、10Mb/100Mbイーサネットコネクタを利用してネットワークに接続することができます。LANコネクタにRJ-45のCat5eケーブルを接続します。DVRは遠隔地から監視、検索、制御およびソフトウェアのアップデートができます。イーサネット接続設定に関する内容は、**オペレーションマニュアルのネットワーク設定**を参照ください。

- DVRの機種によっては、コネクタの方向が異なることがあります。

アラーム接続

アラーム信号線を接続できます。



- アラーム信号線を接続するには、ボタンを押したままボタンの下の穴に信号線を差し込みます。確実に接続しているか確認するため、ボタンを離して信号線を軽く引っ張ってみてください。信号線を外すには、上のボタンを押したまま信号線を引っ張ってください。

● アラーム入力1~4

外部機器を利用し、イベントが発生したらDVRから信号を送ることができます。機械的または電気的スイッチをAI1~AI4（アラーム入力）とGND（接地）端子に接続します。アラーム入力感知のためには、2.4V以上(NC(Normally Closed) タイプ)または 0.3V以下 (NO(Normally Open) タイプ) の電圧が最低でも 0.5秒間その状態が維持されていなければなりません。アラーム入力の電圧範囲は0~5Vです。アラーム入力設定に関する内容は[オペレーションマニュアルのアラーム入力](#)を参照ください。

● GND（接地）

アラームの入力または出力の接地側をGND端子に接続します。

- GNDが表示されているすべてのコネクタは共通です。

● NC/NO（リレーアラーム出力）

本DVRはブザーや電灯などの外部の装置をON/OFFすることができます。動作仕様は、NC（Normally Closed）またはNO（Normally Open）タイプから選択できます。機械的または電気的スイッチをNOとCコネクタに接続します。電気的仕様は、30V DCで1Aです。アラーム出力設定に関する内容は[オペレーションマニュアルのアラーム出力](#)を参照ください。

● コネクタ配置

AI1~AI4	アラーム入力1~4
GND	接地
COM	リレー-Common
NO	リレーアラーム出力（Normally Open）

RS232接続

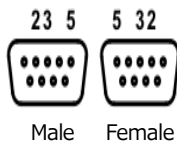
UPSのようなデバイスを接続することができます。



● コネクタ配置

マスター装備	スレーブ装置
RX ⇄ To ⇄ TXD	
TX ⇄ To ⇄ RXD	
GND ⇄ To ⇄ GND	

- ✓ スレーブ装備の 9-ピンコネクタの配置は下記の通りです。



Pin 2	RXD (Receive Data)
Pin 3	TXD (Transmit Data)
Pin 5	GND (Ground)

RS485接続

RS485 half-duplexシリアル通信信号を利用し、POSのようなデバイスと接続することができます。また、RS485コネクタは PTZ(Pan, Tilt, Zoom) カメラを制御するのに使用される場合があります。



● コネクタ配置

マスター装備	スレーブ装置
+ ⇔ To ⇔ TX+/RX+	
- ⇔ To ⇔ TX-/RX-	

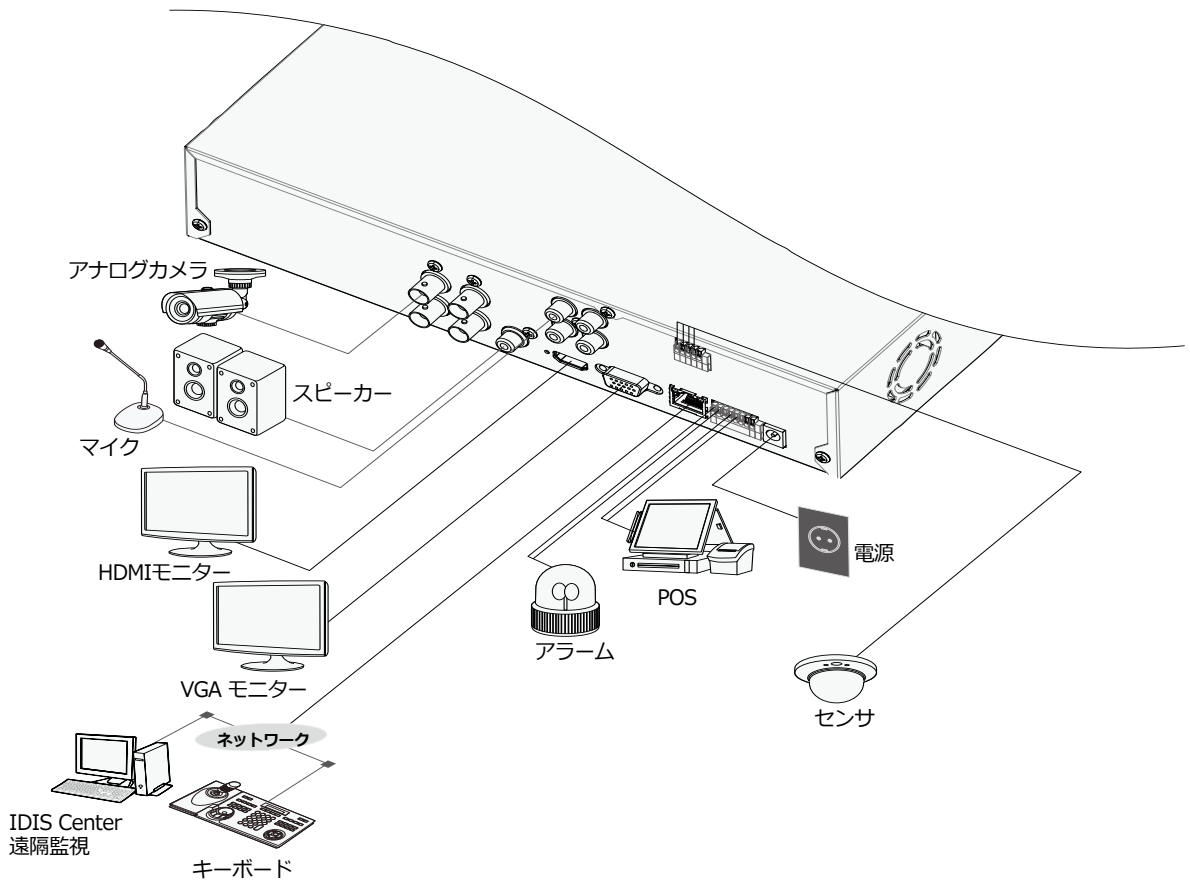
電源コードの接続

電源コードを接続します。本DVRは電源ボタンがないため、電源を接続するとすぐに起動します。

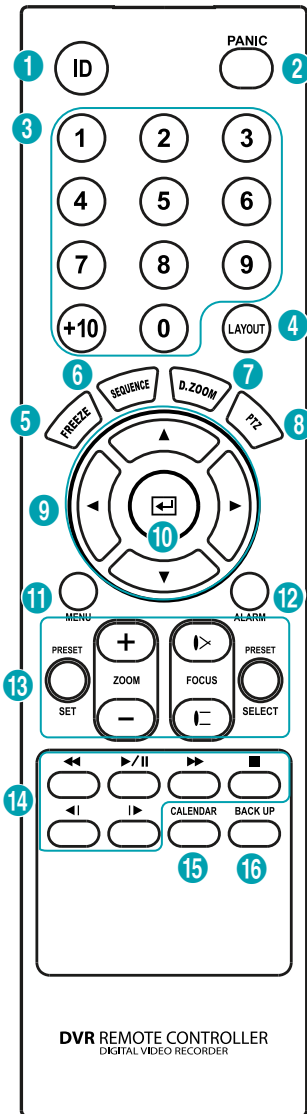


- ✓ 電源コードはきれいに配線し、足に引っかかったり、家具などによって被覆が剥がれないように注意してください。また、電源コードは絨毯やカーペットの下を通さないでください。
- 電源コードには接地用端子があります。コンセントが接地コードが無い場合でも、プラグを变形させないでください。
- タコ足配線は危険ですので、お止めください。

後面パネルの接続図




リモコン (オプション)




①	IDボタン
②	PANICボタン (緊急録画ボタン)
③	カメラボタン
④	LAYOUTボタン (画面分割ボタン)
⑤	FREEZEボタン (監視画面の一時停止ボタン)
⑥	SEQUENCEボタン (自動切替モードボタン)
⑦	ZOOMボタン (拡大ボタン)
⑧	PTZボタン
⑨	方向ボタン
⑩	ENTERボタン (入力ボタン)
⑪	MENUボタン (メニューボタン)
⑫	ALARMボタン (アラームボタン)
⑬	PTZコントロールボタン
⑭	再生ボタン
⑮	CALENDARボタン (カレンダー検索ボタン)
⑯	BACK UPボタン (バックアップボタン)

① IDボタン

リモコンのID値を設定することができます。

システムIDが0の場合は、リモコンを設定せずに使用できます。システムIDが0~16の場合には、IDボタンを押してからIDに該当する数字のボタンを押します。変更したいIDが2桁の場合、**+10**キーを入力します。DVR画面下段の状態表示領域に  (遠隔制御)アイコンが表示され、リモコンの入力によってシステムが調整されます。複数台の装置のシステムIDが0の場合、一つのリモコンで複数台のDVRを一斉に遠隔制御ができます。

② **PANIC**ボタン (緊急録画ボタン)

このボタンを押すと  が表示され、現在のスケジュールに関わらず映像録画を開始します。ボタンをもう一度押すと、緊急録画モードが解除されます。

③ **カメラ**ボタン

リアルタイム監視モード、または再生モードで**カメラ**ボタンを押すと、そのカメラの映像を全体画面で見ることができます。

④ **LAYOUT**ボタン (分割画面ボタン)

2x2画面に設定することができます。

⑤ **FREEZE**ボタン (監視画面の一時停止ボタン)

監視画面を一時停止するときに使用します。

⑥ **SEQUENCE**ボタン (自動切替モードボタン)

リアルタイム監視モードで**SEQUENCE**ボタンを押すと、他チャンネルを連続的に見れる自動切替モードに切り替わります。

⑦ **ZOOM**ボタン (拡大ボタン)

画面で特定の部分を拡大して確認したいときに使用します。方向ボタンで拡大画面のウィンドウを移動させることができます。

⑧ **PTZ**ボタン

PTZモード時、設定されたPTZカメラを制御します。

⑨ **方向**ボタン

各メニューやGUIで移動するために使用します。設定メニューでは、**上下方向**ボタンで数字を増減することができます。リアルタイム監視モードまたは再生モードでは、**左右方向**ボタンで現在の画面から以前の画面あるいは次の画面が再生できます。

⑩ **ENTER**ボタン (入力ボタン)

メニュー設定時に項目を選択したり、入力事項を登録したりするときに使用します。また、リアルタイム監視モードまたは再生モードで**ENTER**ボタンを押してカメラ画面が選択された状態でメニューボタンを押すと、カメラメニューが表示されます。

⑪ **MENU**ボタン (メニューボタン)

リアルタイム監視モードで**MENU**ボタンを押すとリアルタイム監視メニューが、検索モードで押すと検索メニューが画面上段に表示されます。ボタンをもう一度押すと、メニューが消えます。矢印ボタンを利用して各メニューや項目間を移動できます。
















⑫ **ALARM**ボタン (アラームボタン)

アラームが作動している間、内部ブザーを含むDVRの出力をリセットします。また、監視モードでアラームが発生しない場合、イベントログを出力します。

⑬ **PTZ制御**ボタン

PTZモードで画面を拡大または縮小するとき (Zoom +、-) に使用し、近距離または遠距離のフォーカスを調節するとき (Focus +、-) に使用します。

⑭ **再生**ボタン

	映像を高速で逆再生します。 (ボタンを押すたびに  、  、  に速度変更: X16, X32, X64, X128, X256)
	映像が通常で再生され、画面に  が表示されます。再生中に  ボタンを押すと、映像が一時停止され、画面に  が表示されます。
	映像を高速で再生します。 (ボタンを押すたびに  、  、  に速度変更: X16, X32, X64, X128, X256)
	映像再生が停止し、リアルタイム監視モードに切り替わります。
	前の画面に移動 (一時停止の状態時)
	次の画面に移動 (一時停止の状態時)

⑮ **CALENDAR**ボタン (カレンダー検索ボタン)

録画映像の再生画面にカレンダーが表示されます。

⑯ **BACK UP**ボタン (バックアップボタン)

クリップコピーを開始することができます。

第2章 – 付録

システムログの種類






システムスタート	緊急録画開始
システム終了	緊急録画終了
システム再起動	全てのデータ削除
アップグレード成功	ディスク削除
アップグレード失敗	ディスクフォーマット
電源エラー	ディスクフル
時間変更	ディスク構成変更
標準時間帯変更	ディスク「番号」:「シリアルナンバー」
タイムサーバー	ディスク「番号」:削除されました
時間同期化失敗	自動削除
ディスクエラー	検索スタート
ログイン	検索終了
ログアウト	バックアップスタート
設定スタート	バックアップ終了
設定終了	バックアップ取消
遠隔設定変更	バックアップ失敗
遠隔設定失敗	バックアップユーザー
設定読込	バックアップスタート
設定読込失敗	バックアップ終了
設定保存	バックアップ映像再生時間
設定保存失敗	バックアップカメラ
設定保存取消	コールバック失敗
スケジュールオン	ファクトリーリセット
スケジュールオフ	

エラーコードの種類

アップグレードエラーコード			
番号	タイプ	番号	タイプ
0	原因不明なエラー	301	遠隔ネットワークエラー
1	ファイルバージョンが合致しない	302	遠隔アップグレードの権限がない
2	OSバージョンが合致しない	303	遠隔アップグレードファイルの保存失敗
3	SWバージョンが合致しない	304	ユーザーが遠隔アップグレードをキャンセル
4	カーネルバージョンが合致しない	400	USBメモリでマウントエラー
100	メモリマウントエラー	401	USBメモリでファイルロードエラー
101	ファイルが見つからない	402	USBメモリでファイルコピーエラー
102	圧縮ファイルの解凍エラー	403	USBメモリが接続されていない
103	リロ(LILO)実行失敗	404	USBメモリ使用中
104	再起動失敗	405	サポートされないファイルシステム
105	正しくないファイル	500	バックアップ中であるためアップグレードできない
300	遠隔接続失敗		

バックアップエラーコード			
番号	タイプ	番号	タイプ
0	原因不明なエラー	11	保存失敗
1	デバイスエラー	12	ディスクエラー発生
2	デバイス接続失敗	13	クリッププレイヤーの実行ファイルなし
4	間違ったメディア	14	クリッププレイヤーの実行ファイルオープン失敗
5	同じ名前のファイルがある	15	クリッププレイヤーの実行ファイル保存失敗
6	残容量不足	16	イメージ作成失敗
7	臨時ファイル作成失敗	19	デバイス接続失敗
8	ディスクオープン失敗	20	デバイス使用中
9	ディスクフォーマット失敗	21	サポートされないファイルシステム
10	データベースが変更される	22	データ検証失敗

故障時の確認事項

不具合	確認事項
本体の電源が入りません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードの接続を確認してください。 ● コンセントの電源を確認してください。
リアルタイム映像が映りません。	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラビデオケーブルとの接続を確認してください。 ● モニタービデオケーブルとの接続を確認してください。 ● カメラの電源を確認してください。 ● カメラレンズの取り付け状態を確認してください。
DVRが録画中に止まりました。	DVRを上書きモードに設定してください。詳しい内容は オペレーションマニュアルの一般 を参照ください。
 アイコンが画面に表示されていますが録画がされません。	<p>プリイベント設定がされている場合、イベントが発生せず、録画されていない時には () アイコンと () アイコンが表示されます。</p> <p>イベントが発生して録画されるときは、  アイコンと  アイコンが表示されます。詳しい内容はオペレーションマニュアルのスケジュールを参照ください。</p>

製品の仕様

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変更される場合があります。

一般	
寸法(W x H x D)	300mm x 67mm x 243.6mm
本体の重量	3kg(with 2TB 2HDDS)
動作温度	0°C - 40°C
動作湿度	0% - 90%
入力電源	ADAPTER (INPUT: 100-240V~, 50/60Hz, 1.5A / OUTPUT: 12V $\overline{\text{---}}$, 5A)
消費電力	12V $\overline{\text{---}}$, 1.7A, 20.4W (with 6TB 2HDDS)
認証	FCC、CE

ビデオ	
ビデオ入力	Composite または HD-TVI : 4 BNC, 1 Vp-p, auto-terminating, 75 Ohms
モニター出力	HDMI : 1, VGA : 1
ビデオ解像度	HDMI: 3840x2160, 1920x1080, 1280x1024 VGA: 1920x1080, 1280x1024
録画速度(1秒当たりのイメージ)	120 ips @ Full HD (Real-time)
再生速度(1秒当たりのイメージ)	120 ips @ Full HD (Full Duplex)

入力/出力	
アラーム入力	4 TTL、NC/NO programmable、2.4V (NC)または0.3V (NO) threshold、5VDC
アラーム出力	1 relay output、terminal blocks、NO programmable、1A@30VDC
内蔵ブザー	78dB at 10cm
ネットワーク接続	10Mbps/100Mbps
オーディオ入力	4 line、RCA
オーディオ出力	1 line、RCA
テキスト入力	POS Interface、ATM Interface

コネクター	
ビデオ入力	Composite または AHD/HD-TVI : 4 BNC, 1 Vp-p, auto-terminating, 75 Ohms
モニター出力	HDMI : 1, VGA : 1
オーディオ入力	4 RCA connector
オーディオ出力	1 RCA connector
アラーム	Terminal block
イーサネット端子	1 RJ-45
RS232シリアル端子	Terminal block
RS485シリアル端子	Terminal block
IR遠隔制御ポート	リモコン
USB端子	2 x USB 2.0
保存	
主HDD	SATA HDD
バックアップデバイス	USBメモリ(USB HDD、USB Memoryなど)

